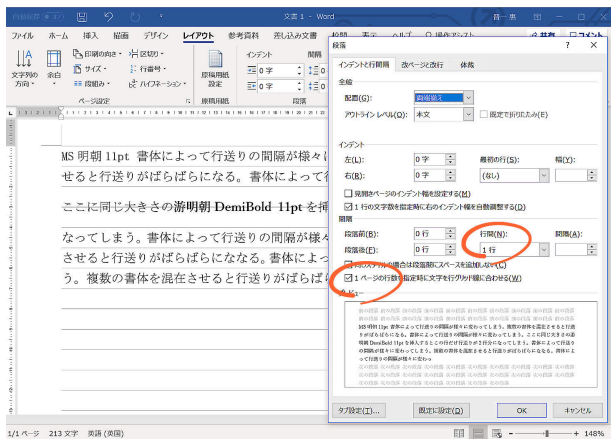
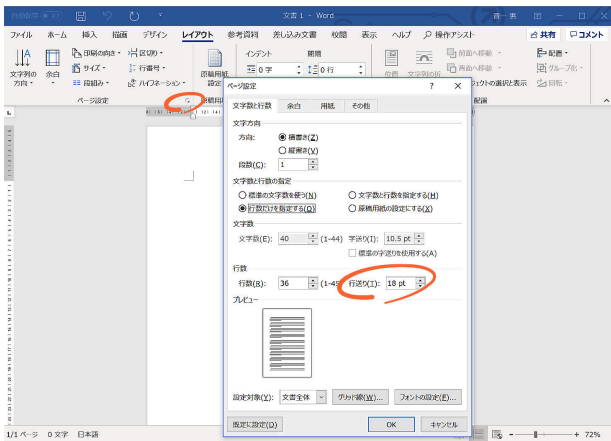
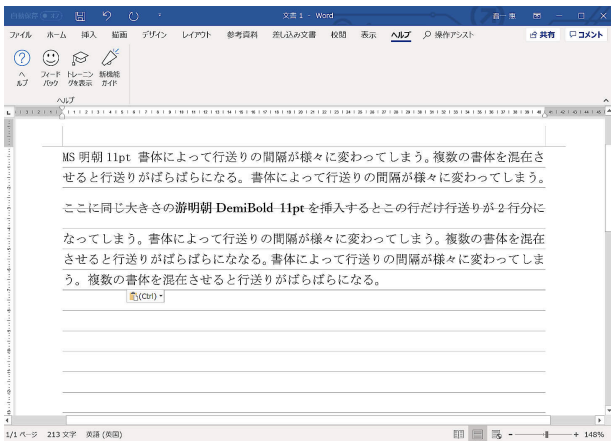
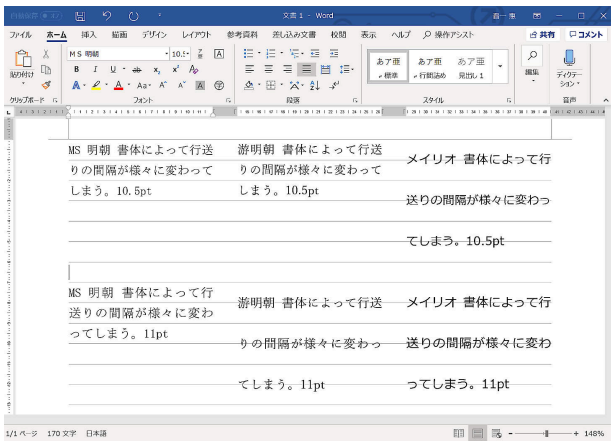


行送り・行間

グラフィック基礎 Word基礎



Wordの既定値(初期設定値)を変えずに文字列を数行入力する。フォントを游明朝からメイリオに変更すると行送りが2行分になる。

フォントはメイリオのまま、大きさを10.5ptから11ptに変えても2行分の行送りに変化はない。フォントを游明朝に変更しても行送りに変化はない。游明朝の行送りはフォントの大きさが10.5ptと11ptの間で変化する。フォントの大きさを11ptのままMS明朝に変えたと行送りは1行分になる。フォントの大きさは11ptのまま、MS明朝の文字列の中の1文字をメイリオあるいは游明朝DemiBoldに変えたとその文字がある行だけ2行分の行送りになる。これはフォントによって必要とされる行送りの値が異なるからである。

Wordの癖のようなものであるが、行送りについての正しい知識がないと使いこなせないことになる。

デザインや出版の世界では「行送り」は文字の下端あるいは上端から次の行の文字の下端あるいは上端までの距離を言い、「行間」は別の意味を持つが、Wordでは「行送り」と同じ意味で使われる。

Wordの既定値

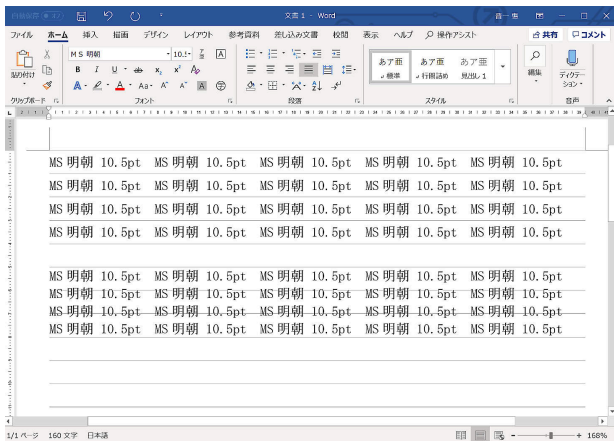
レイアウト>ページ設定 | 右下ダイアログボックスでダイアログを開く。「文字数と行数」タブを選択、「行数」の「行送り」の値が1行分の行送りになる。既定値は18pt。

ページ設定以外に

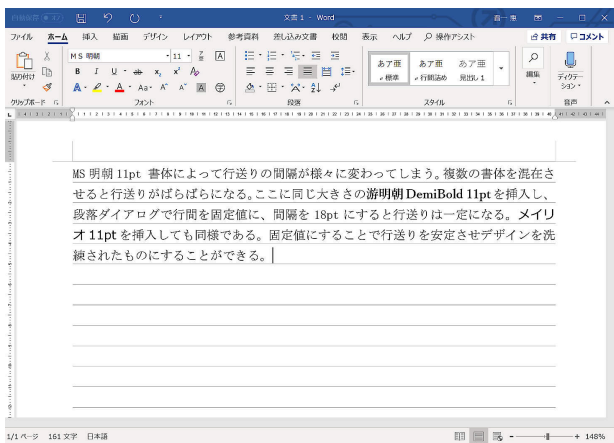
｜ホーム＞段落｜ 右下ダイアログボックスでダイアログを開く。「インデントと行間隔」タブを選択。

「間隔」「行間」での設定と「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックがある。

「行間」の既定値は「1行」、「1ページの行数・・・」の既定値はチェック有り。ここのチェックを外すことで1行分の行送りが変化する。



	文字の大きさ 単位：pt	「1行」でグリッド線に合わせ ない設定の行送り値 単位：pt
メイリオ	100	195
游明朝	100	167
源真ゴシック M	100	187
游ゴシック	100	167
Meiryo UI	100	165
Yu Gothic UI	100	173
MS UI Gothic	100	130
HGPゴシックE	100	130
MS ゴシック	100	130
MS 明朝	100	130
UDデジタル教科書体 NK-B	100	130
Japanese Text	100	227
Edwardian Script ITC	100	118



1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる		
	チェック有り	チェックなし
1行	ページ設定の行送り値を基準にして指定された数値の倍数となる。既定値は18pt。フォントが必要とする行送り値より小さい場合は1行単位で行送りが増える。	フォントの大きさにより必要とする行送り値を基準にして指定された数値の倍数となる。フォントによって値が異なる。
1.5行		
2行		
倍数		
固定値	チェック有りなしに関わらず指定したpt数で行送りする。	
最小値	1行と同様	指定したpt数で行送りするが、その値がフォントの大きさにより必要とする行送り値より小さい場合はフォントが必要とする行送り値になる。固定値と「1行」のハイブリッド

段落ダイアログで「1ページの行数・・・」にチェックを入れると1行がページ設定で入力された行送りの値になる。チェックを外すとフォントに設定された値になる。フォントに設定された値はフォントによって異なり、明確にはなっていない。そしてフォントの大きさによって一定の割合で行送りの値が変化していく。メイリオではフォントの大きさの195%、源真ゴシックでは187%、游明朝では167%とバラバラの値である。

段落ダイアログの「行間」で選択できる「1行、1.5行、2行」と「倍数」はほぼ同じで倍数の間隔に入力した値が行の値になる。例えば「1.2」と入力すると「1.2行」という意味になる。この「1.2行」も「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」にチェックが入っているかどうかで実際の行送り値が異なってくる。

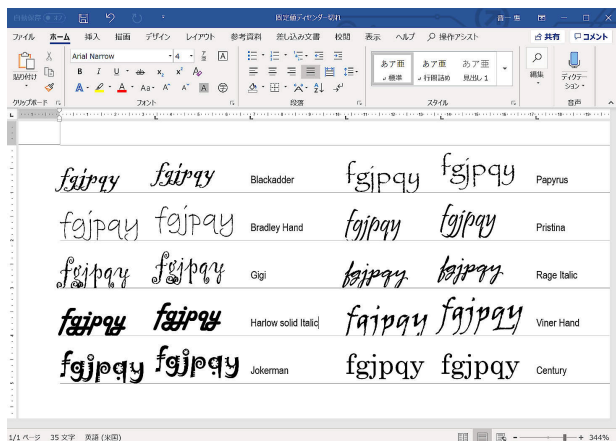
「固定値」では「1ページの行数を指定に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックに関わらず、入力されたpt数で行送りされ、ページ設定の行送りやフォントに設定された行送りの値に左右されない。

「最小値」では「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを外した状態で入力したpt数で行送りされところは「固定値」と同じであるが、フォントに設定された行送りの値が入力したpt数より大きいとフォントに設定された行送りが当てはめられる。「最小値」とはフォントに設定された行送り値のことである。

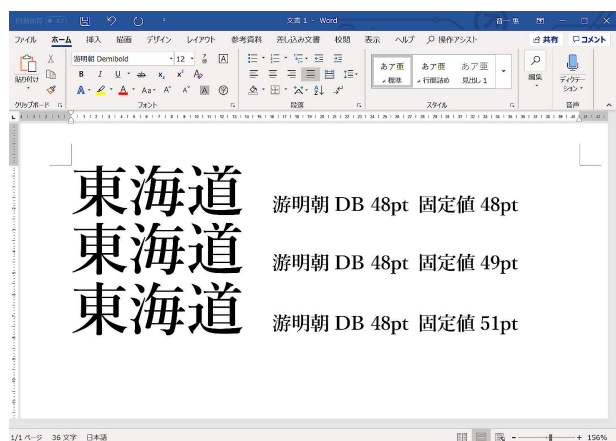
デザインの世界ではフォントの大きさによって行送り値を変えるのが当たり前であり、本文より注釈などの行送り値が小さいのが普通である。

行送りを自由にコントロールできるのは「固定値」だけということになる。

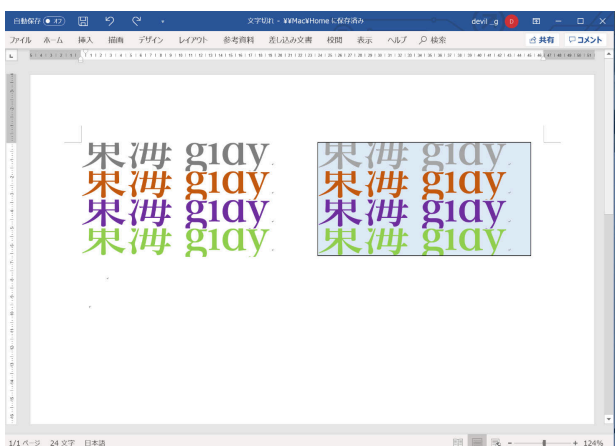
段落ダイアログの設定をまとめると左図のようになる。



「固定値」に設定すると文字の位置が下がる。そして行間隔の高さに収まらない部分は切れてしまう。日本語の場合は問題がないが、アルファベットの「y」や「g」などの小文字でディセNDER（大文字の下端より下側の部分）が通常より長いフォントでは切れる場合がある。ディセNDERが切れるのはハンドライトの文字が多い。



文字と大きさと同じ行送りを設定することはほとんどないが、理屈上はフォントと同じ値の行間隔であれば、文字は収まるはずであるが、実際には上端が切れてしまう。切れないようにするには108%位の行間隔が必要である。

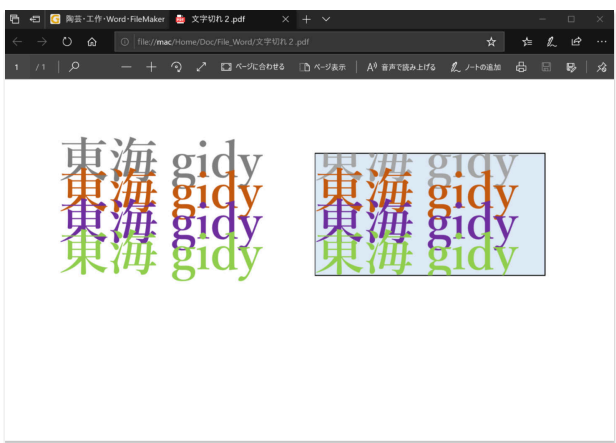


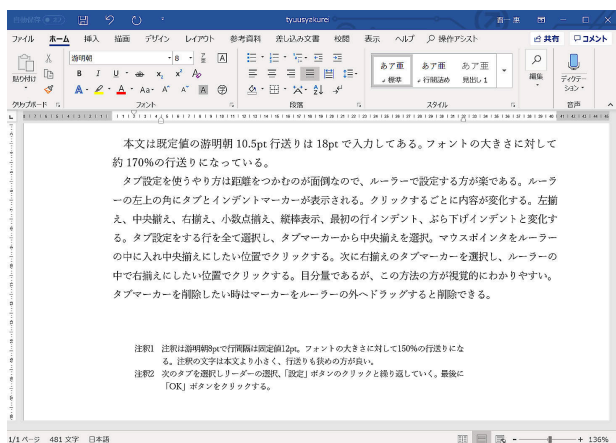
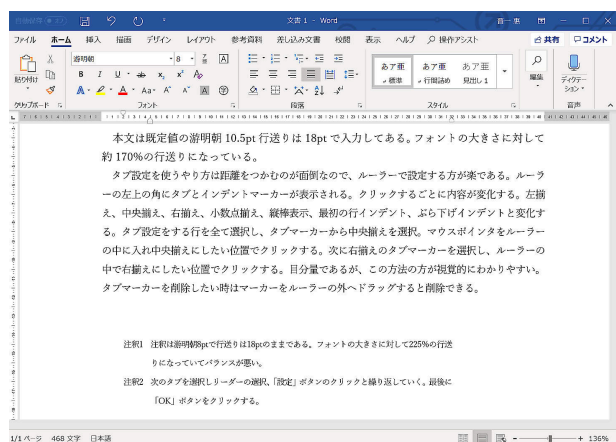
これらの現象はWordでの表示の問題であり、PDFにしたりプリントすると切れることはない。左は48ptの文字の行間隔を30ptにして重なるようにしたものである。文字列の上下が切れてしまっている。

左下はそれをPDFに書き出したものであるが、上下切れることはなく、重なって表示されている。1行目の上の部分は余白部分になるが、文字が表示されている。

テキストボックスの方はテキストボックスの枠内では重なっているが、枠外では表示されない。

テキストボックスで文字の大きさに近い間隔の固定値を設定する場合は1行目の上部が切れることがある。1行目を空の行にして余裕を作るなどの対応が必要となる。





左図は本文と注釈の例である。上は本文10.5pt、注釈は8ptであるが、行送りは既定値の18ptのままである。フォントの大きさに対する行送りの割合は本文が約170%、注釈が225%になっている。見るからに注釈は間が抜けている。文字列の役割に応じて文字の大きさと行送りの値を調整する必要がある。

下の図の本文の行送りは上と同じだが、注釈は8pt、行送りは12ptにして150%にしている。

行間隔を固定値にする大きな理由の一つである。

フォントを選び、大きさを決め、行送りを調整することはグラフィックデザインの基本である。



名刺の住所などインフォメーション部分は行送りが狭くなる。社名はメイリオ8ptで郵便番号以下は源真ゴシック7ptで入力されているが、行間隔は微妙に異なっている。郵便番号は社名との間隔をあけるため11ptの行間隔、住所は郵便番号の数字列が漢字より小さいので7.5pt、電話番号は8.5pt、URLは7.5pt、アドレスは8ptである。見た目で行と行の間が均一になるよう調整する。フォントごとの字形デザインによっても行と行の空気が変わってくる。

ガンダーソフト株式会社

〒1929-990

東京都西宮市青森町 1-3-27

TEL 002-3456-7890

<https://guntare.com>

a.musashi@guntare.com

ガンダーソフト株式会社

〒1929-990

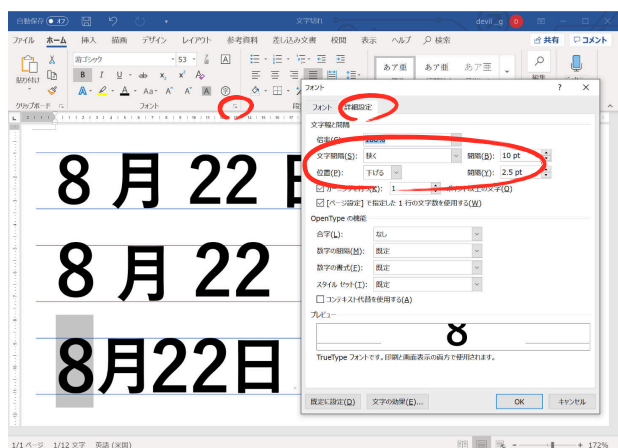
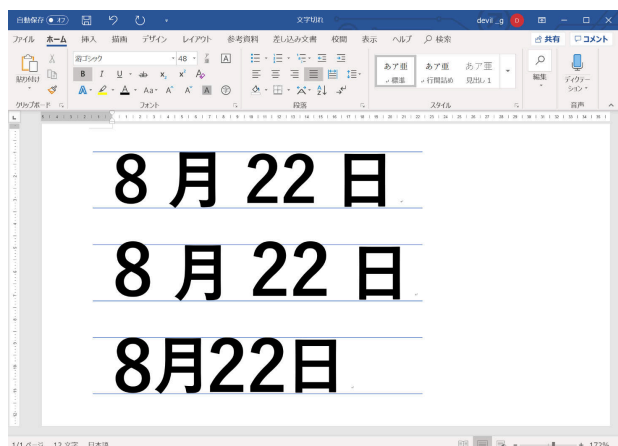
東京都西宮市青森町 1-3-27

TEL 002-3456-7890

<https://guntare.com>

a.musashi@guntare.com

インフォメーション部分を150% に拡大してある。左が住所以下8ptの行送り、右が異なる行間隔で調整したもの。行間は0.5pt単位でしか設定できないので文字が小さくなると調整が難しくなる。



日本語フォントのアルファベットの字形は漢字やひらがなと違和感がないようにデザインされているが、大文字や数字は漢字より小さくなる。

ポスターなどで「8月22日」のような日付を大きな文字でレイアウトするとどうしても数字が小さくてバランスが悪い。このような時には数字を大きくするのだが、同時に、文字の位置も上がってしまい漢字と数字の上下が揃わなくなる。ここでは数字部分の位置を下げる。

1行目は48ptの文字列、2行目は数字を53ptにしたもの、3行目は文字の位置を2.5pt下げ、さらに数字と漢字の間を狭くしたものである。こうすることで引き締まった感じになる。

文字の位置を下げるには文字列を選択しフォントダイアログを開く。「位置」を「下げる」にし、「間隔(Y)」に数値を入れる。0.5pt単位でしか入力できない。

文字と文字の間を狭めるには「文字間隔」を「狭く」にし、「間隔(B)」に数値を入れる。0.1pt単位で入力できる。選択した文字と次の文字の間隔が変化する。複数の文字を選択すると最初の文字と最後の文字の次の文字までの間隔が変化する。「8」は10pt、「月」は7pt、2番目の「2」は10.5pt 狭くしてある。

ただし、文字間隔は入力した値の2倍のポイント数で変化する。

Wordのバグだと思われる。